

事業コード	04060313			政策コード	04	政 策 名	秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略					
事 業 名	地域公共交通等新型コロナ対策事業			施策コード	06	施 策 名	交流の持続的拡大を支える交通ネットワークの構築					
				指標コード	03	施策目標(指標)名	技術革新等を見据え地域の实情に応じた多様な地域公共交通の確保					
部 局 名	観光文化スポーツ部	課 室 名	交通政策課	班名			(tel)		担当課長名	小松 勝統	担当者名	宮川 健一

評 価 対 象 事 業 (計 画) の 内 容

事業年度 令和03年度 ~ 令和03年度

1．事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 新型コロナウイルス感染症の拡大により利用者が大幅に減少しているバス事業、第三セクター鉄道事業、タクシー事業及びレンタカー事業について、事業継続に要する経費等を支援するとともに、県民などの利用を喚起することにより、交通ネットワークの維持と地域への誘客拡大を図る必要がある。	3．事業目的(どのような状態にしたいのか) 住民生活や観光誘客を支えるバス事業者、第三セクター鉄道事業者、タクシー事業者及びレンタカー事業者について、新型コロナウイルス感染症収束までの間に、事業継続等を図るとともに、県民の利用促進を図る。 (重点施策推進方針との関係) ● 重点事業として要望 ○ その他事業として要望
--	---

2．住民ニーズの状況 ニーズを把握した対象 ■ 受益者 □ 一般県民 (時期 : R02 年 12 月) ニーズの把握の方法 □ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 ■ ヒアリング □ インターネット □ その他の手法 (具体的に) ニーズの具体的内容 新型コロナウイルスの影響による減収についての支援を求める意見があった。	4．目的達成のための方法 事業の実施主体 県 事業の対象者・団体 バス事業者、第三セクター鉄道事業者、タクシー事業者、レンタカー事業者 達成のための手段 新聞、広報紙、We b等への掲載による幅広い情報発信を行い、各事業での利用促進を図るとともに、車両の維持費用や安全対策に関わる費用等を適宜支援していく。
--	---

把握していない場合の理由及び今後の方針		比較した代替手段及び選択した手段の有効性
理由		新型コロナウイルスの影響により、運賃収入が大幅に減少している地域交通に対し、通常の運行費補助では対象外となる車両維持等に要する費用等を支援することにより地域交通の維持を図るものであり、有効性がある。

今後の方針		
-------	--	--

5．事業の全体計画及び財源

単位(千円)

順位	事業内記	左 の 説 明	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	全体(最終)計画
01	バス事業新型コロナ対策事業	新型コロナウイルスの影響を受けている貸切バス事業等への輸送力維持及び県民等の利用促進に向けた支援	143,440	0	0	0	0	0	143,440
02	三セク鉄道新型コロナ対策事業	新型コロナウイルスの影響を受けている三セク鉄道への安全対策及び県民等の利用促進に向けた支援	24,812	0	0	0	0	0	24,812
03	タクシー事業新型コロナ対策事業	新型コロナウイルスの影響を受けているタクシー事業への輸送力維持及び県民等の利用促進に向けた支援	110,603	0	0	0	0	0	110,603
04	レンタカー事業維持対策事業	新型コロナウイルスの影響を受けているレンタカー事業者への事業継続に要する経費の支援	34,970	0	0	0	0	0	34,970
財源内記		左 の 説 明	313,825	0	0	0	0	0	313,825
国 庫 補 助 金			0	0	0	0	0	0	0
県 債			0	0	0	0	0	0	0
そ の 他			0	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源			313,825	0	0	0	0	0	313,825

6．事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み											
事業の期待される成果		バス、タクシー事業の輸送力の維持									
指標	指標名	貸切バス等台数							指標の種類		
	指標式	県内の貸切バス、高速バス、空港リムジンバス台数							● 成果指標 ○ 業績指標		
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）										
	指 標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度		
	目標a			343					343		
	実績b	367	データ等の出典								
	東 北		秋田運輸支局調べ								
	全 国										
把握する時期 ○ 当該年度中 月 ● 翌年度 06月 ○ 翌々年度 月											
指標	指標名	タクシー台数							指標の種類		
	指標式	県内のタクシー台数							● 成果指標 ○ 業績指標		
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）										
	指 標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度		
	目標a			1,287					1287		
	実績b	1,305	データ等の出典								
	東 北		秋田運輸支局調べ								
	全 国										
把握する時期 ○ 当該年度中 月 ● 翌年度 06月 ○ 翌々年度 月											
指標を設定することができない場合の効果の把握方法 指標を設定することが出来ない理由 見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む) 											
事業の必要性											
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性 新型コロナウイルスの影響を受けている各事業の輸送力の維持、安全運行の確保のため実施する事業であり、必要性を有する。 											
住民ニーズに照らした事業の必要性 各事業者からの新型コロナウイルスの影響に対する支援の要望を受けて実施する事業であり、必要性を有する。 											
事業の県関与の必要性 ☐ 法令・条例上の義務 ☐ 内部管理事務 ■ 県でなければ実施できないもの ☐ 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの 貸切バス、タクシー、三セク鉄道等を利用した複数市町村を跨ぐ広域的な県内周遊を促進する事業であり、県でなければ実施できないものである。											

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定	
		○ 重点事業 ○ その他	